



小岩ほほえみの会だより

平成24年3月号

第70号(3月号)

発行日3月1日(木)

発行元 広報部

前月2月活動

- 活動日:2月2日(木)12時~14時 ●小岩区民館
- 食事:<節分にちなんだ料理(豆ご飯・鯛のつみれ汁・他)>
- レクリエーション:“おしゃべりしながらティータイム”他
担当(詫間、寺木、鈴木)



いつも多彩な食材



いただきまーす



室内装飾



身近な話からスタート!

活動を終えて

..おしゃべりしながらティータイム..

コーヒー、紅茶など頂きながら、若いころの苦労話、戦争のこと、昔の小岩のことなど楽しく話に花を咲かせ...

関口さんの読まれる、百歳の柴田トヨさんの心にひびく詩に聞き入り...

♪鬼のパンツはいいパンツ 強いぞ強いぞ
はこうはこう鬼のパンツ...♪

山元さんのリードでゆかいに歌い楽しみ...

外は寒い立春前、部屋の中はみ~んなの若さとあふれる元気でほど良いあたたかさ...

いいですね、共に過ごす そんな午後ひととき。

<寺木 茂代>



当月3月活動

- 活動日:3月1日(木)12時~14時
- 食事:<祭りずし・筑前煮・その他>
- レクリエーション:“しりとりでつなごう歌と歌”
担当(関口、植草)

ほほえみのわ

..... 絆

晩年楽しみながら着ていた母の着物、喜寿のお祝いの会では孫やひ孫に囲まれての記念写真、米寿を過ぎ元気だった頃が回想されます。

思い出の着物が私の所に来ました。大切に保有しています。

眠りから目覚めたように一枚又一枚と水洗いをして、薄綿を入れ絆纏に作り変えました。

中学生の孫「軽くて暖かいよ」と大喜びです。

表裏正絹で作れるのも母の御陰です。

次の孫にはどの柄にしようか、着る人作る人共に幸せを感じます。

気が付けば母と同じ事をしている自分に気付かされました。感謝!!

<青柳 しま子>



3月誕生者

祝 おめでとうございます! 🌸

<◎印 利用者 ○印 スタッフ>

◎坂田 妙子(3月 9日)◎小高 斐代(3月13日)

◎村松 敏子(3月10日)◎石橋千代子(3月30日)

◎渡辺 照子(3月11日)○伊敷 洋輔(3月18日)

◎大塚とみえ(3月11日)

コラム

.....ひなまつりの由来.....

平安時代の貴族の子女が遊んだことが始まりです。

内裏雛、三人官女、五人ばやしを飾り、桃の花をいけ、ひし餅と白酒を供えて祝います。

ひな膳には白酒や貝料理、おすしを並べるほか“桜餅”も供されます。

桜餅は二種類あり、関東は東京向島にある長命寺の桜の葉の塩づけで小麦粉と白玉粉を合わせて焼いた餅をくるんだもの、関西には道明寺粉の餅を、やはり塩漬の桜の葉でくるんだものがあります。<喜友名 典子>

来月4月予定

- 日時:4月5日(第1木曜日)
- 会費:500円(食事代、行事保険料、趣味、活動材料費)
- 食事:<二色サンド・他>
- レクリエーション:“歌声談話室” 担当(関口)
総合人生大学卒業生、千倉さん、高橋さん

連絡先 詫間(TEL 03-3658-0389)